

MITSUBISHI

遠隔モニタリングソフトウェア

形名

NM-S10

取扱説明書

—for Windows® XP—

—for Windows® Vista—

ライセンス契約書

1. 使用許諾

お客様は、三菱ネットワークレコーダー NM-NV10 のご購入により、同梱のアクセサリ CD に収録されているソフトウェア NM-S10（以下、本ソフトウェアという。）を、1台のパーソナルコンピュータで使用できる使用権を許諾されました。

但し、本ソフトウェアの著作権は三菱電機株式会社（以下、ライセンサーという。）またはライセンサーが本ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者に帰属しますので、お客様は本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

2. 禁止事項

お客様は次の各号に該当する行為を行ってはならないものとします。各号の何れかに該当した場合、お客様による本ソフトウェアの使用権は即時に終了するものとします。

- (1) 本ソフトウェアの全部又は一部をライセンサーに無断で複製すること。
- (2) 本ソフトウェアを修正、再プログラミング、翻訳、ディアセンブル、デコンパイル、その他の方法により解析（リバースエンジニアリング）すること。
- (3) 本ソフトウェアを賃貸に供すること。
- (4) 本ソフトウェアをライセンサーに無断で再使用許諾すること。

3. 責任の制限

ライセンサーは本ソフトウェアの機能がお客様の要求を満足するものであること、本ソフトウェアの実行が中断しないこと、もしくは本ソフトウェアに不具合がないことを何ら保証するものではありません。

また、ライセンサーは本ソフトウェアの使用により生じたお客様の損害又は第三者からのお客様に対する請求に対して、損害の発生する可能性を知得していた場合を含め、いかなる場合においても責任を負わないものとします。

4. 仕様変更

本ソフトウェアの仕様、デザイン及び、取扱説明書の内容は、改良などのために将来予告なく変更することがあります。

5. 許諾の終了

事由の如何を問わず、お客様に対する本ソフトウェアの使用権が終了した場合、お客様は本ソフトウェアがインストールされているあらゆるコンピュータシステムから本ソフトウェアのコピーを除去及び廃棄することとします。お客様はライセンサーから要請があった場合には、当該廃棄に関する証明書を提出するものとします。

6. 著作権問題等への注意

本ソフトウェアは、デジタル方式で記録または処理された映像（音声）データを再生・表示・コピー・保存するものでありますので、お客様は当該映像（音声）を扱う際に、違法な行為を行わないよう、十分な注意・配慮をするものとし、お客様が本ソフトウェアを使用したことによってプライバシー又は著作権その他の問題が生じた場合には、ライセンサーは一切の責任を負わないものとします。

MPEG4 特許について

本製品は MPEG-4 プールライセンスに関し、以下の行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておられません。

- (1) 画像情報を MPEG-4 ビデオ規格に準拠して（「MPEG-4 ビデオ」）エンコードすること。
- (2) 個人使用として記録された MPEG-4 ビデオおよび／またはライセンスを受けているプロバイダーから入手した MPEG-4 ビデオを再生すること。詳細については <http://www.mpegla.com> をごらんください。

目次

1. はじめに	8
1.1 特徴	8
1.2 動作環境	8
1.3 お知らせ	8
2. セットアップ・起動	9
2.1 システム構成	9
2.2 インストール	9
2.3 アンインストール	10
2.4 起動	10
2.5 ログイン	10
2.5.1 ユーザー種別	10
2.5.2 バージョン確認	11
2.6 終了	11
3. ライブ映像の閲覧・録画	12
3.1 基本画面（ライブ映像）.....	12
3.1.1 映像パレット	12
3.1.2 カメラリスト	13
3.1.3 映像表示	14
3.2 映像コントロール（ライブ映像）.....	14
3.2.1 表示領域の拡大・縮小・フルスクリーン.....	14
3.2.2 PTZ（パンチルトズーム）カメラ操作.....	15
3.2.3 音声出力	16
3.2.4 シーンキャプチャ	16
3.2.5 表示消去	16
3.3 録画	16
3.3.1 録画開始	17
3.3.2 録画停止	18
3.4 お気に入り表示	18
3.4.1 パレット状態の保存（お気に入り保存）	18
3.4.2 お気に入りの表示	19
3.4.3 自動巡回	19
3.4.4 お気に入り情報の編集・削除	19
4. 再生映像の閲覧・出力	20
4.1 基本画面（再生映像）	20
4.1.1 映像パレット	20
4.1.2 操作パネル	21
4.1.3 映像表示	21
4.2 映像コントロール（再生映像）.....	22
4.2.1 表示領域の拡大・縮小・フルスクリーン.....	22
4.2.2 ファイル出力（JPEG / AVI）	22
4.2.3 印刷	23

4.2.4	表示消去	23
4.3	日時検索	24
4.3.1	検索日指定	24
4.3.2	録画時間帯リスト	24
4.3.3	再生	25
4.4	アラームリスト検索	26
4.4.1	アラームリストの表示	26
4.4.2	再生	27
4.4.3	アラームリスト CSV 出力	27
4.5	再生履歴検索	27
4.5.1	再生履歴保存	28
4.5.2	再生履歴リスト	28
4.5.3	再生	29
5.	レコーダー・カメラの登録・設定	30
5.1	レコーダー登録・設定	30
5.1.1	レコーダーの登録	30
5.1.2	レコーダーの登録内容変更	31
5.1.3	レコーダーの設定変更	31
5.1.4	レコーダーの削除	32
5.2	カメラ登録・設定	33
5.2.1	カメラの登録	33
5.2.2	カメラの設定変更	35
5.2.3	カメラホームポジションの設定	35
5.2.4	カメラの削除	35
6.	レコーダーの各種操作・初期化	36
6.1	レコーダーの操作	36
6.1.1	レコーダー情報	36
6.1.2	レコーダー時刻設定	36
6.1.3	フロントキーロック設定	37
6.1.4	レコーダー電源 ON/OFF	37
6.1.5	タイマー録画 ON/OFF	37
6.1.6	録画 ON/OFF	38
6.1.7	警告消去	38
6.1.8	記録時間の算出	38
6.2	レコーダーの初期化	39
6.2.1	ハードディスク初期化	39
6.2.2	設定情報初期化	39
7.	タイマー録画の設定	40
7.1	タイマー録画用プログラムの作成	40
7.1.1	録画プログラムの追加	41
7.1.2	録画プログラムの編集	42

目次

7.1.3 録画プログラムの削除	42
7.2 タイマー録画の登録・開始	43
7.2.1 録画プログラムの割り当て	43
7.2.2 タイマー録画モードの開始	44
8. システムログ・警告	45
8.1 システムログ	45
8.1.1 ログの表示	45
8.1.2 ログのCSV出力	45
8.1.3 ログ内容一覧	46
8.2 警告	47
8.2.1 警告の表示	47
8.2.2 警告表示の設定	47
9. ユーザー管理	49
9.1 ユーザー一覧	49
9.1.1 ユーザーの表示	49
9.1.2 ユーザー種別（機能制限）	50
9.2 ユーザーの追加・編集・削除	50
9.2.1 ユーザーの追加	50
9.2.2 ユーザーの編集	51
9.2.3 ユーザーの削除	51
10. その他の設定	52
10.1 シーンキャプチャ保存先設定	52
10.2 印刷時表示文字設定	52
10.3 各種設定バックアップ	53
10.4 レコーダー一括時刻設定	53
11. 付録	54
11.1 制限事項	54

Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation 米国およびその他の国における登録商標または商標です。(Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。) This software is based in part of the work of the Independent JPEG Group.

その他記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中では R マークや TM マークは明記していません。

・ WindowsXP は Microsoft Windows XP Home Edition/Professional の略称として表記しています。

・ WindowsVista は、Microsoft Windows Vista の略称として表記しています。

1. はじめに

[NM-S10] は、三菱電機(株)製ネットワークレコーダーやネットワークカメラと接続して、ライブ画像や録画画像の取得やレコーダーやカメラの設定や操作を行うことができる、Microsoft Windows XP および Microsoft Windows Vista で使用できるアプリケーションソフトウェアです。

1.1 特徴

- 接続レコーダーのリスト表示による動作状況監視・イベント監視
- 記録中同時再生機能、最新画像取得機能、区間指定画像ダウンロード
- 日時検索、アラームリスト検索、保存履歴検索
- 複数レコーダー同時監視機能、画面レイアウト保存機能
- ネットワークレコーダーの遠隔操作、設定
- PTZ カメラコントロール
- 発報受信機能
- Windows に対応したプリンタでのレポートフォーマットの印刷
- 再生履歴保存機能
- カメラライブ音声再生機能
- 汎用画像フォーマットへの一括画像変換 (JPEG、AVI)

1.2 動作環境

- Intel Core 2 Duo 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機
- Windows XP (SP2 以上) または Windows Vista (SP1 以上)
- 2GB バイト以上の物理メモリ
- 1280 × 768 ピクセル以上、1920 × 1200 ピクセル以下の解像度
- 24bit 以上のカラー表示ができるビデオアダプタとモニター
- インストール時に 500MB 以上のハードディスク空き容量 (.NET Framework は除く)
- Windows に対応したサウンドアダプタ
- 上記環境で正常動作する NIC (通信機能使用時)
- モニター解像度 96dpi

1.3 お知らせ

動作環境はすべての環境で動作を保証するものではありません。

<対応ネットワークレコーダー>

NM-NV10

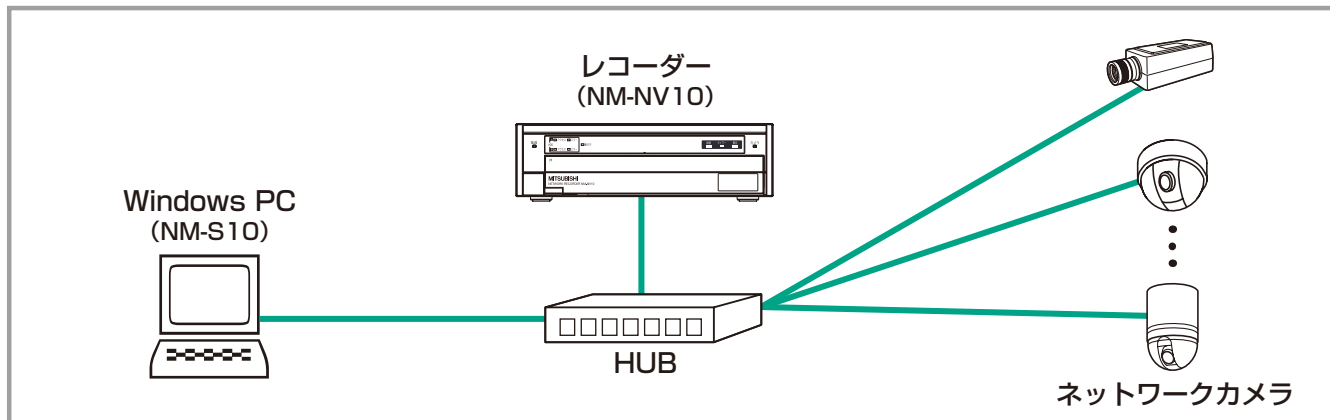
長時間にわたって連続使用される場合や、ソフトの使用条件や PC の負荷状況によりソフトまたは PC の動作が緩慢になったり予期しない動作が発生する場合があります。定期的にソフトおよび PC の再起動を実施していただくことをお勧め致します。

通信の帯域が十分に確保できない場合、本ソフトウェアからのカメラやレコーダーの設定、録画開始や録画停止などの操作、再生画像の取得などに時間がかかる場合があります。

2. セットアップ・起動

2.1 システム構成

[NM-S10] を利用する際の基本構成は以下となります。



<役割>

- Windows PC (NM-S10) :
 - ・ ライブ映像の閲覧 ※ライブ映像は各カメラから直接取得します。
 - ・ 録画映像の再生
 - ・ レコーダー (NM-NV10) ・ カメラの各種設定
- レコーダー (NM-NV10) :
 - ・ カメラからの映像の録画
 - ・ 録画した映像データを Windows PC に送信
- ネットワークカメラ :
 - ・ 映像データの配信
 - ・ 動きの検知・通知
 - ・ アラームの検知・通知

2.2 インストール

[NM-S10] をインストールするには、本ソフトウェアのセットアップディスクの SETUP.EXE を起動します。起動すると、以下のようなセットアップ画面が表示されます。



[NM-S10] を利用するためには、以下の 3 つのアプリケーションがインストールされている必要があります。

1. Access DataBase Engine 2007
2. AXIS Media Control
3. NET Framework 3.5 ServicePack 1

画面の各ボタンから、それぞれのアプリケーションをインストールしてください。

※すでに各アプリケーションがインストール済みの場合は、操作は不要です。

2. セットアップ・起動

上記3つのアプリケーションのインストールが完了したら、[NM-S10のインストール] ボタンから本ソフトウェアのインストールを行ってください。

過去に[NM-S10] をインストールしたPCの場合は、確実にアンインストール（およびPCの再起動）の上、改めて[NM-S10] のインストールを行ってください。

2.3 アンインストール

[NM-S10] をアンインストールする場合は、コントロールパネルの[プログラムの追加と削除] から、[NM-S10] を選択し、アンインストールを行ってください。

2.4 起動

インストール終了後、スタートメニューとデスクトップに[NM-S10] が登録されます。以後、これを選択すると、[NM-S10] が起動します。

2.5 ログイン

[NM-S10] を起動後に最初に表示されるログイン画面で、ユーザーIDとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックすると、[NM-S10] の初期画面が表示されます。



2.5.1 ユーザー種別

[NM-S10] のユーザーは利用できる機能ごとに以下の3種類に分類されます。

- 管理ユーザー**：管理メニューを含む全機能を利用できるユーザー
- 一般ユーザー**：ライブ映像の閲覧と、録画映像の再生が行えるユーザー
- 制限ユーザー**：ライブ映像の閲覧のみを行えるユーザー

■ユーザー種別 利用可能機能

	ライブ映像閲覧	録画映像の再生	映像の録画	管理メニュー
管理ユーザー	○	○	○	○
一般ユーザー	○※	○※		
制限ユーザー	○※			

※ユーザー設定で権限が与えられたカメラのみ閲覧および再生が可能

TIPS 初期登録ユーザー

[NM-S10] には初期ユーザーとして以下の3ユーザーがあらかじめ登録されています。
これらの初期ユーザーは変更・削除することも可能です。

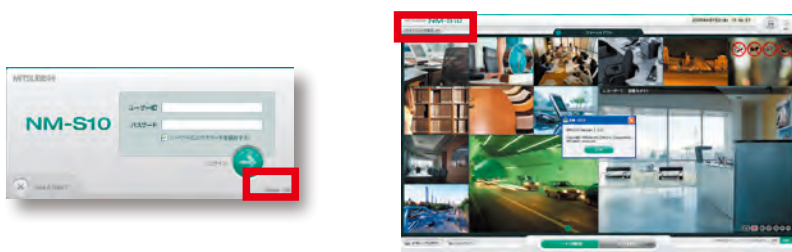
【初期管理ユーザー】 ユーザー ID : root パスワード : admin000

【初期一般ユーザー】 ユーザー ID : user パスワード : user

【初期制限ユーザー】 ユーザー ID : guest パスワード : guest

2.5.2 バージョン確認

[NM-S10] のバージョンはログイン画面の右下に表示されています。
また、ログイン後の画面で、ヘッダーのタイトル部分をダブルクリックすることでも確認できます。



2.6 終了

NM-S10 を終了させる場合は、画面右上の [×] ボタンをクリックします。



3. ライブ映像の閲覧・録画

[NM-S10]はカメラが撮影しているライブ映像を閲覧したり、レコーダーに録画させることができます。映像は1つのディスプレイに最大24画面まで表示させることができ、特定のカメラ映像を自動的に巡回させて表示させることもできます。

※ライブ映像は各カメラから直接取得します。

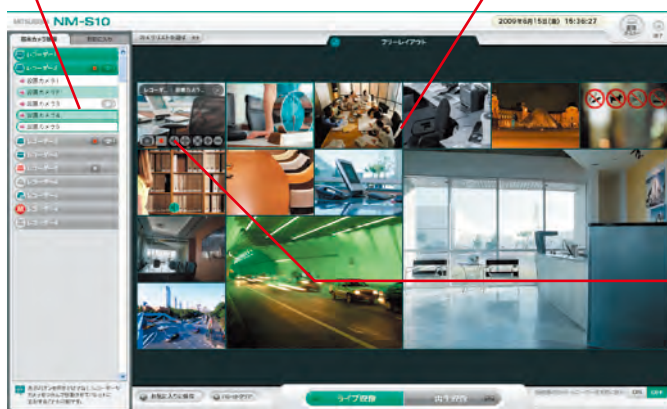
※ライブ映像の画質や更新速度等は記録（録画）設定と無関係です。

3.1 基本画面(ライブ映像)

ライブ映像の画面は以下の要素から構成されます。

■カメラリスト

- ・登録されているレコーダー・カメラの一覧表示
- ・お気に入りとして保存した映像パレットを選択



■映像パレット

- ・映像を最大24画面で表示

■映像・各種操作

- ・各映像の表示サイズの変更
- ・PTZカメラの操作 等

3.1.1 映像パレット

登録しているカメラの映像を4×6のマスキュン内に追加・配置することができます。

(映像パレットへの映像の追加方法は[3.1.2 カメラリスト]を参照してください)

配置された映像は、マウスのドラッグで自由に映像パレット内を移動させることができます。

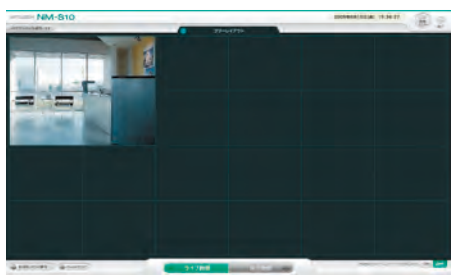


【マウスドラッグ前(移動前)】



【マウスドラッグ後(移動後)】

カメラの映像は最大24画面まで表示させることができ、1つの映像の表示サイズも任意に変更することができます。



【表示サイズ変更前(拡大前)】



【表示サイズ変更後(拡大後)】

3.1.2 カメラリスト

■基本カメラ映像タブ

登録されているレコーダー名・カメラ名が一覧表示されます。

(カメラ名が登録されていない場合は、チャンネル番号が表示されます)

レコーダーおよびカメラにマウスオーバーすると操作ボタンが表示されます。



録画ボタン：

選択レコーダーに登録されているカメラ映像の録画を開始します。

録画はレコーダー単位の一括録画になります。

特定のカメラだけを指定して録画することはできません。

※録画権限のないユーザーでログインしている場合はボタンが表示されません。

※タイマーモードに設定されている場合はボタンが表示されません。(タイマーモードに関しては、[7 タイマー録画の設定]を参照してください)



録画停止ボタン：

録画を停止します。

※通信状態によって、レコーダーが録画開始、または録画停止するまでに時間がかかる場合があります。



パレット追加ボタン： 選択レコーダーまたはカメラを映像パレットに追加します。

レコーダーを選択した場合は、レコーダーに登録されている全カメラが映像パレットに追加されます。

TIPS レコーダーの状態表示

登録レコーダーに付いているアイコンで、現在のレコーダーの状態が確認できます。



ネットワーク非接続： レコーダーにアクセスできない状態です。



録画中： 録画中（通常録画またはアラーム録画）の状態です。



録画停止中： 録画停止中の状態です。



電源 OFF： レコーダーの電源が入っていない状態です。



タイマー録画中： タイマーモードで録画中（通常録画またはアラーム録画）の状態です。
(タイマーに関しては [7 タイマー録画の設定] を参照してください)



タイマー録画停止中： タイマーモードで録画停止中の状態です。



タイマー電源 OFF： タイマーモードでレコーダーの電源が入っていない状態です。



警告発生中： レコーダーに何らかの警告が発生しています。
(警告に関しては [8.2 警告] を参照してください)

※通信状態によって、レコーダーの状態が反映されるまでに時間がかかる場合があります。

■お気に入りリストタブ

保存したパレット状態（お気に入り）の一覧を表示します。

(お気に入りの保存方法は [3.4.1 パレット状態の保存（お気に入り保存）] を参照してください)



3. ライブ映像の閲覧・録画

3.1.3 映像表示



映像領域にマウスオーバーすると、レコーダー名・カメラ名や各種操作ボタンが表示されます。

(各操作ボタンの機能に関しては [3.2 映像コントロール (ライブ映像)] を参照してください)

また、表示中の映像が録画中の場合は、[録画マーク] や [アラーム録画マーク] が表示されます。

(アラーム録画に関しては [5.2.1 カメラの登録] を参照してください)



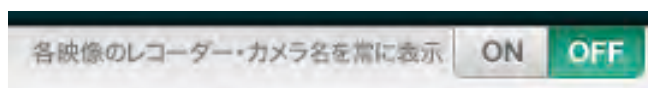
【録画マーク】



【アラーム録画マーク】

TIPS レコーダー名・カメラ名の常時表示

画面右下にある「各映像のレコーダー・カメラ名を常に表示」ボタンを ON に設定すると、各映像のカメラ名・レコーダー名が常時表示されるようになります。



3.2 映像コントロール(ライブ映像)



映像に対する操作ボタンには以下の機能があります。

3.2.1 表示領域の拡大・縮小・フルスクリーン




表示サイズ拡大：選択映像の表示サイズを、映像の左上を基準に拡大します。クリックごとに [1×1表示] → [2×2表示] → [3×3表示] → [4×4表示] と拡大します。
※スペースが無い場合は、拡大されません。スペースを作ってから再度クリックしてください。



表示サイズ縮小：選択映像の表示サイズを、映像の左上を基準に縮小します。クリックごとに [4×4表示] → [3×3表示] → [2×2表示] → [1×1表示] と縮小します。



フルスクリーン：選択映像をフルスクリーンで表示します。

フルスクリーンから元の表示に戻りたい場合は、操作ボタンの  ボタンをクリックするか、キーボードの [Esc] ボタンを押してください。

※フルスクリーン表示状態で複数映像を表示させることはできません。

TIPS 表示サイズと画質

ライブ映像は、表示しているディスプレイの解像度と表示サイズ（マス目）により、適切な映像解像度とビットレートを自動算出し、表示します。

表示サイズを大きくするほど、高画質の映像をカメラから取得します。

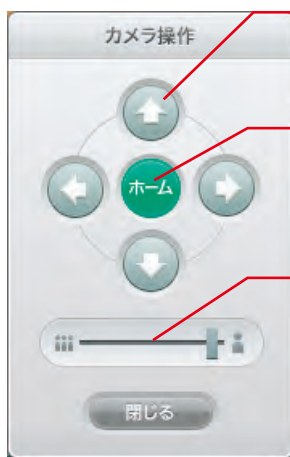
※自動巡回中はこの機能が OFF になります。

3.2.2 PTZ(パンチルトズーム)カメラ操作



PTZ 操作：選択カメラのパン・チルト・ズーム操作を行います。クリックすると、カメラ操作パネルが表示されます。

※ PTZ 操作可能なカメラのみ、ボタンが表示されます。



■パン・チルト操作

・カメラの向きを上下左右に移動させます

■ホームポジション

・カメラの向きを登録しているホームポジションに戻します

■ズーム

・映像をズームさせます

【カメラ操作パネル】

※上記パネルを閉じると、カメラは自動的にホームポジションに戻ります。パン・チルト・ズームが変更されたままになることはありません。

(カメラのホームポジションの設定は [5.2.3 ホームポジションの設定] を参照してください)

3. ライブ映像の閲覧・録画

3.2.3 音声出力



音声出力：選択映像の音声を出力します。再度クリックすると音声を消します。

※音声出力に対応したカメラのみ、音声出力されます。

※本システムで、音量の調整はできません。Windows の音量調整を利用してください。

※音声 ON にできるのは 1 つだけです。

※パレットを更新すると音声 OFF になります。



【音声ON状態】



【音声OFF状態】

3.2.4 シーンキャプチャ



シーンキャプチャ：表示中の映像を静止画（JPEG）として保存します。



【シーンキャプチャ保存した瞬間】

※保存された静止画は、所定のフォルダに蓄積されていきます。

保存フォルダの指定は [10.1 シーンキャプチャ保存先設定] を参照してください。

3.2.5 表示消去



閉じる：表示中の映像を閉じます。閉じた映像は、カメラリストから再度配置することができます。

3.3 録画

[NM-S10] には、“通常録画” と “アラーム録画” の 2 種類の録画種別があります。

■通常録画

- ・ユーザーが手動で開始・停止する録画
- ・タイマーモードにおいて、「通常録画」として登録されている時間帯の記録
(この時間帯で発生したアラーム開始イベントによる録画は「アラーム録画」となります)
(タイマーモードに関しては [7 タイマー録画の設定] を参照してください)

■アラーム録画

- ・アラーム開始イベントを受けて開始・停止される録画
(アラーム開始イベントについては [3.3.1 録画開始] を参照してください)

3.3.1 録画開始

■通常録画の開始



【カメラリストからの録画開始】



【映像コントロールからの録画開始】

カメラリストの録画ボタン、または映像コントロールの録画ボタンをクリックすると録画が開始されます。

録画はレコーダー単位の一括録画になります。特定のカメラだけを指定して録画することはできません。

※録画権限のないユーザーでログインしている場合はボタンが表示されません。

※タイマーモードに設定されている場合はボタンが表示されません。
(タイマーモードに関しては、[7 タイマー録画の設定] を参照してください)

※通信状態によって、レコーダーが録画開始するまでに時間がかかる場合があります。

■アラーム録画の開始

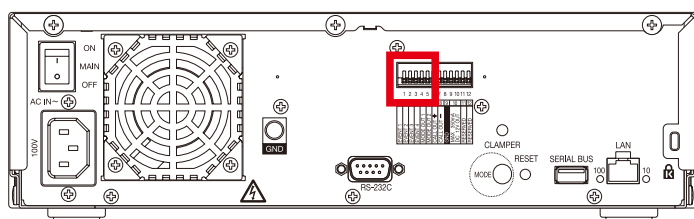
アラーム開始イベントを受けると、録画が開始されます。

※アラーム録画が設定されていないカメラはアラーム開始イベントを受けても、録画は開始されません。

アラーム録画の設定は [5.2.1 カメラの登録] を参照してください。

アラーム開始イベントには以下があります。

- ・レコーダー背面端子への接地（メイク）
- ・カメラの端子への接地（メイク）
- ・カメラの動き検知



【レコーダーの背面端子】



【カメラの端子(AXIS 211Aの例)】

※レコーダー背面端子に関しては、レコーダーの取扱説明書を、カメラの端子と動きの検知に関しては、カメラの取扱説明書を参照してください。

3. ライブ映像の閲覧・録画

3.3.2 録画停止

■通常録画の停止



【カメラリストからの録画停止】

カメラリストの録画停止ボタン、または映像コントロールの録画停止ボタンをクリックすると録画が停止します。

※録画権限のないユーザーでログインしている場合はボタンが表示されません。

※タイマーモードに設定されている場合はボタンが表示されません。
(タイマーモードに関しては【7 タイマー録画の設定】を参照してください)

※通信状態によって、レコーダーが録画停止するまでに時間がかかる場合があります。



【映像コントロールからの録画停止】

■アラーム録画の停止

アラーム録画開始から、アラーム録画時間で設定した時間経過すると録画が自動で停止します。

アラーム録画時間の設定は【5.1 レコーダー登録・設定】を参照してください)

アラーム録画中に、続けてアラーム開始イベントが発生した場合は、録画時間を自動で延長します。

また、通常録画と同様に録画停止ボタンをクリックしても録画停止します。

TIPS 管理メニューからの録画開始・停止

管理者用の管理メニューからも通常録画とアラーム録画の開始・停止を行うことができます。

管理メニューの録画開始・停止に関しては【6.1.6 録画 ON/OFF】を参照してください。



3.4 お気に入り表示

映像パレットに表示している状態（配置カメラ・表示サイズ）をお気に入りとして保存することができます。

保存されたお気に入りは、後で表示状態をワンクリックで再現することができます。

また、自動巡回機能により、複数のお気に入り表示を一定時間で自動切り替えることも可能です。

3.4.1 パレット状態の保存(お気に入り保存)



【お気に入り名入力パネル】



保存したい映像パレットを表示した状態で、「お気に入り」ボタンをクリックします。

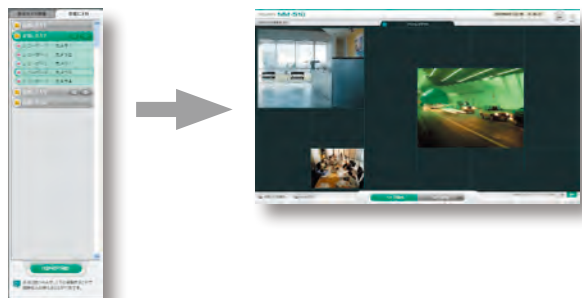
お気に入り名入力パネルが表示されますので、

- ・新規保存
- ・上書き保存


のどちらかを選び、「保存」ボタンをクリックしてください。

※お気に入りはユーザーごとに保存されます。複数ユーザーでお気に入りを共有することはできません。

3.4.2 お気に入りの表示

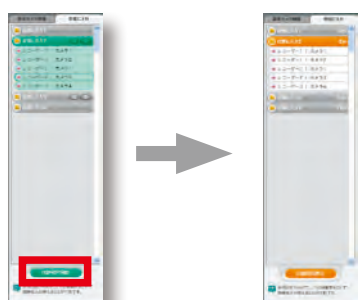


保存したお気に入りはカメラリストの「お気に入り」タブに追加されます。

登録されているお気に入りをマウスオーバーし、 ボタンをクリックすると、映像パレットが保存した状態に変更されます。

※保存されるのは、配置カメラ・表示サイズのみです。映像自体は保存されません。(映像を保存する場合は録画を行ってください)

3.4.3 自動巡回



【自動巡回停止中】

【自動巡回中】

「自動巡回開始」ボタンをクリックすることで、保存した複数のお気に入りを指定時間で自動的に切り替え表示させることができます。

※巡回対象に設定されていないお気に入りは、切り替わりません。

自動巡回中に「自動巡回停止」ボタンをクリックすると自動巡回を停止します。

※自動巡回時の表示画質は自動巡回開始前に表示したときの画質が保持されます。自動巡回開始前に 1x1 表示し、自動巡回で 4x4 表示をした場合などには表示画質が悪くなる場合があります。

自動巡回で画質が悪い場合は、一旦自動巡回を停止し 4x4 表示などのお気に入りを選択表示後、再度自動巡回を開始してください。

TIPS 自動巡回の順番の入れ替え

登録したお気に入りをマウスドラッグすることで、お気に入りの順番を変更することができます。



TIPS アイコンクリックによる自動巡回の開始・停止

映像パレット上部にあるアイコンをクリックすることでも、自動巡回の開始・停止を操作することができます。



自動巡回停止中アイコン：
クリックすると自動巡回を開始します。



自動巡回中アイコン：
クリックすると自動巡回を停止します。

3.4.4 お気に入り情報の編集・削除



編集したいお気に入りにマウスオーバーし、「編集」ボタンをクリックすると、お気に入り編集パネルが表示されます。お気に入り編集パネルでは、

- ・お気に入り名
- ・巡回対象チェック
- ・自動巡回時の表示時間

を変更することができます。

お気に入りの削除もこの編集パネルから行います。

4. 再生映像の閲覧・出力

[NM-S10] は録画した映像を、さまざまな条件から検索し再生・閲覧することができます。録画されている映像は、特定期間を切り出してファイルに出力したり、レポートとして印刷したりすることもできます。

4.1 基本画面(再生映像)

再生映像の画面は以下の要素から構成されます。

■操作パネル

- ・映像の・再生・停止等のコントロール操作
- ・映像パレットに表示されている映像のレコーダー情報・カメラ情報の表示



■映像パレット

- ・録画映像を最大24画面で表示

■映像・各種操作

- ・各映像の表示サイズの変更
- ・映像のファイル出力
- ・映像の印刷 等

4.1.1 映像パレット

再生映像を4×6のマスキュン内に自由に配置することができます。

(検索・配置方法は [4.3 日時検索]、[4.4 アラームリスト検索]、[4.5 再生履歴検索] を参照してください)

配置された映像は、マウスのドラッグで自由に映像パレット内を移動させることができます。



【マウスドラッグ前(移動前)】



【マウスドラッグ後(移動後)】

最大24画面まで表示させることができ、1つの映像の表示サイズも任意に変更することができます。



【表示サイズ変更前(拡大前)】



【表示サイズ変更後(拡大後)】

4.1.2 操作パネル



【タイムスタンプ(録画日時)】

現在パレットで表示している映像のタイムスタンプ（録画日時）を表示します。

※タイムスタンプの違う複数の映像を同一パレットに表示することはできません。



【時刻変更スライダー】

再生映像は、「時刻変更スライダー」または各種コントロールボタンで再生・早送り・早戻し等ができます。

「時刻変更スライダー」はマウスで時刻メモリまたはつまみをつかみ、左右に動かすことで、早送り・早戻しが可能です。



【各種コントロールボタン】



再生： 映像を1倍速で再生します



一時停止： 映像を一時停止します



逆再生： 映像を1倍速で逆再生します



コマ送り： 映像を次のフレームに送ります



コマ戻し： 映像を前のフレームに戻します



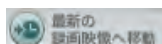
早送り： クリックごとに映像を早送りします。
[2倍速→4倍速→8倍速→16倍速]



早戻し： クリックごとに映像を早戻しします。
[2倍速→4倍速→8倍速→16倍速]



検索点戻し： 映像が検索された時間点に戻ります。



最新の録画映像へ移動：

表示している映像の中で、最も新しい録画映像の時間にジャンプします。

4.1.3 映像表示



映像領域にマウスオーバーすると、録画したレコーダー名・カメラ名や各種操作ボタンが表示されます。

(各操作ボタンの機能に関しては [4.2 映像コントロール (再生映像)] を参照してください)

また、再生映像がアラーム録画された部分である場合は [アラーム録画マーク] が表示されます。

(アラーム録画に関しては [5.2.1 カメラの登録] を参照してください)



【アラーム録画マーク】

4. 再生映像の閲覧・出力

4.2 映像コントロール(再生映像)



映像に対する操作ボタンには以下の機能があります。

4.2.1 表示領域の拡大・縮小・フルスクリーン



表示サイズ拡大：選択映像の表示サイズを、映像の左上を基準に拡大します。クリックごとに

[1×1表示] → [2×2表示] → [3×3表示] → [4×4表示]

と拡大します。

※スペースが無い場合は、拡大されません。スペースを作ってから再度クリックしてください。




表示サイズ縮小：選択映像の表示サイズを、映像の左上を基準に縮小します。クリックごとに

[4×4表示] → [3×3表示] → [2×2表示] → [1×1表示]

と縮小します。

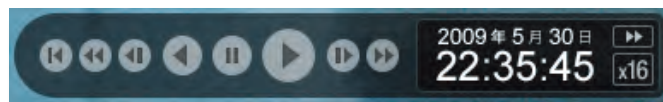


フルスクリーン：選択映像をフルスクリーンで表示します。

フルスクリーンから元の表示に戻りたい場合は、操作ボタンの  をクリックするか、キーボードの [Esc] ボタンを押してください。

※フルスクリーン表示状態で複数映像を表示させることはできません。

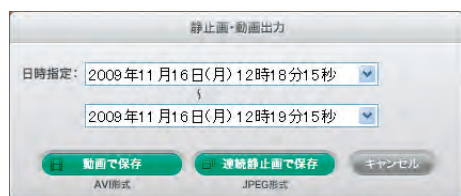
※再生映像をフルスクリーン表示した場合、フルスクリーン用の操作パネルが画面下部に表示されます。



【フルスクリーン用操作パネル】

4.2.2 ファイル出力(JPEG／AVI)

録画した映像は、時間を指定し、連続静止画（JPEG形式）または動画（AVI形式）にファイル出力することができます。



ファイル出力：映像コントロールのファイル出力ボタンをクリックすると静止画・映像出力パネルが表示されます。

出力したい時間を指定し、[動画で保存] または [静止画で保存] ボタンをクリックすると、

ファイルに出力することができます。

※静止画は録画フレームごとの連続した複数 JPEG ファイルで出力されます。

ファイル数が膨大になってしまうため、10分以上の時間範囲を指定して出力することはできません。

※動画は圧縮率の低い AVI ファイルで出力されます。

ファイル容量が大きくなってしまうため、10分以上の時間範囲を指定して出力することはできません。

※ JPEG ファイルおよび AVI ファイルの容量は録画した映像の画質に依存します。

4.2.3 印刷



印刷：録画した映像をレポート形式で印刷します。



【印刷パネル】

映像コントロールの印刷ボタンをクリックすると印刷パネルが表示されます。印刷するページのヘッダー・フッター・コメントを入力し、[印刷開始] ボタンをクリックすると、レポートが印刷されます。

- ※ ヘッダー・フッター・コメントが不要な場合は、入力しなくても構いません。
- ※ ヘッダー・フッターには基本文字列をセットしておくことができます。基本文字列セットの方法は [10.2 印刷時表示文字設定] を参照してください。

TIPS 複数映像の一括印刷

映像パレットに表示している複数映像を一括印刷することもできます。操作パネル内の「同時刻の映像を一括印刷」をクリックすると、一括印刷パネルが表示されます。



【一括印刷パネル】

1枚に印刷する画像枚数を選択後、印刷するページのヘッダー・フッター・コメントを入力し、[印刷開始] ボタンをクリックすると、複数映像が一括で印刷されます。画像数が1枚に収まらない場合は複数枚に渡って印刷されます。

4.2.4 表示消去



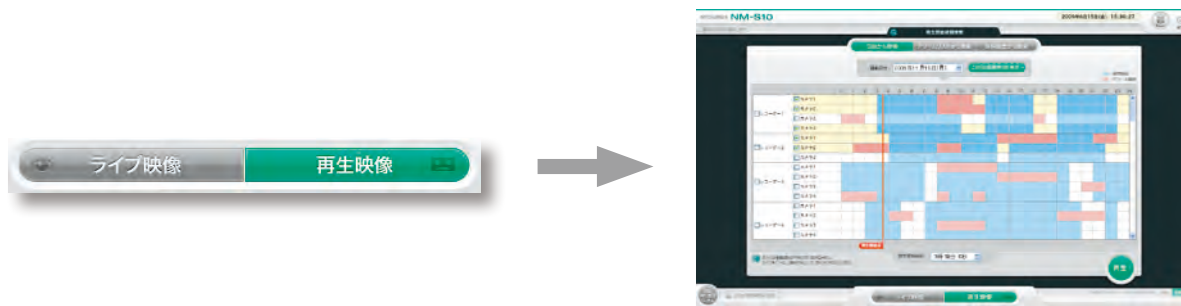
閉じる：表示中の再生映像を閉じます。閉じた映像は、各種検索から再度配置することができます。

4. 再生映像の閲覧・出力

4.3 日時検索

日付・時刻を指定し、録画映像を再生することができます。

画面下部の「再生映像」ボタンをクリックすると、映像検索パネルが表示されます。
映像検索パネルの「日時から検索」をクリックすると、日時検索画面が表示されます。



日時検索の画面は以下の要素から構成されます。

■ 検索日指定

- ・ 閲覧したい録画日付を指定

■ 録画時間帯リスト

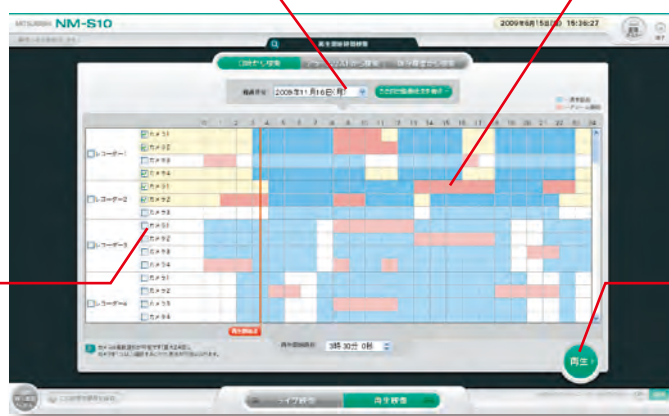
- ・ 検索日指定で指定した日の録画状況を表示

■ カメラ選択

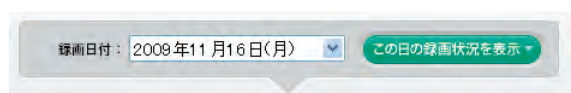
- ・ 閲覧したいカメラを選択 (チェック)

■ 検索映像再生

- ・ 録画時間帯リストで指定したカメラ映像を再生



4.3.1 検索日指定






閲覧したい録画日を指定し、「この日の録画状況を表示」ボタンをクリックすると、指定日の録画状況が録画時間帯リストに表示されます。

4.3.2 録画時間帯リスト

検索日指定で指定された日の録画状況がカメラごとにリスト表示されます。

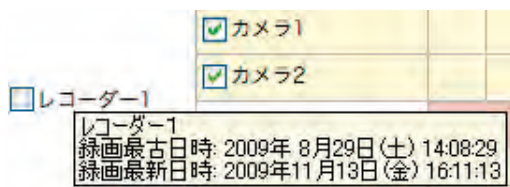
※大まかな表示なので、録画のある時間帯を再生しても映像が出ず黒画面となる場合があります。その場合は、早送りや早戻しをすると映像が表示されます。

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
レコーダー1	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ1																									
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ2																									
	<input type="checkbox"/> カメラ3																									
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ4																									

-  青色領域：通常録画のある時間帯
-  赤色領域：アラーム録画のある時間帯
-  白色領域：録画映像が無い時間帯

TIPS レコーダーの録画最古時刻と録画最新時刻

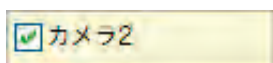
リスト内のレコーダー名をマウスオーバーすると、そのレコーダーに録画されている映像の最古時刻と最新時刻が表示されます。



【最古録画時刻・最新録画時刻表示】

4.3.3 再生

録画時間帯リストから、閲覧したいカメラにチェックをいれ、再生したい時刻を「再生開始点」マークで指定します。検索日の時間帯の中から、再生したい時刻を「再生開始点」マークをマウスで動かして指定します



【再生開始点マーク】

[再生] ボタンをクリックすると、指定日時の指定カメラの映像を再生します。



- ※一度に再生できる映像は 24 個までです。
- ※カメラチェックが 1 つもないと再生できません。

再生映像の画面から、再度検索画面に戻る場合は、「検索に戻る」ボタンをクリックします。



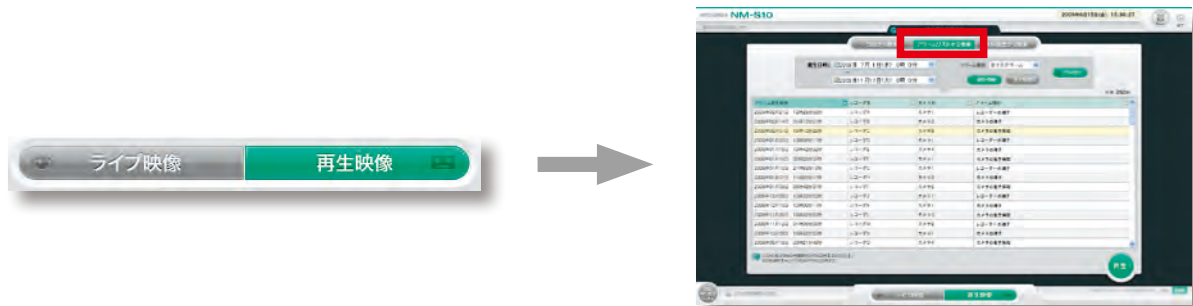
4. 再生映像の閲覧・出力

4.4 アラームリスト検索

カメラの動き検知等のアラーム開始イベント発生により録画された映像を検索・閲覧することができます。

画面下部の「再生映像」ボタンをクリックすると、映像検索パネルが表示されます。

映像検索パネルの「アラームリストから検索」をクリックすると、アラームリスト検索画面が表示されます。



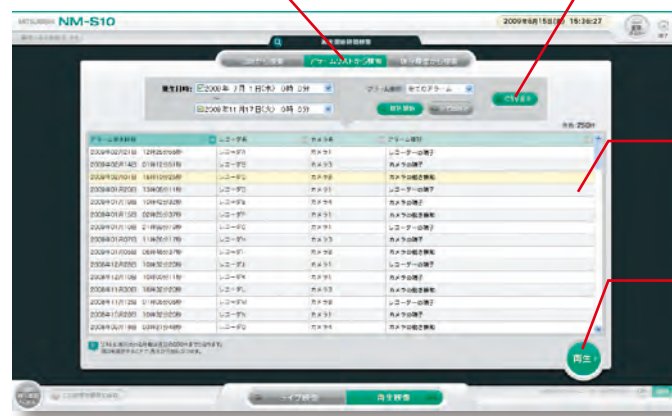
アラームリスト検索の画面は以下の要素から構成されます。

■アラーム絞り込み

- ・日時等の条件で表示アラームを絞り込み

■CSV出力

- ・アラームリストをCSV出力



■アラームリスト

- ・発生したアラームを一覧表

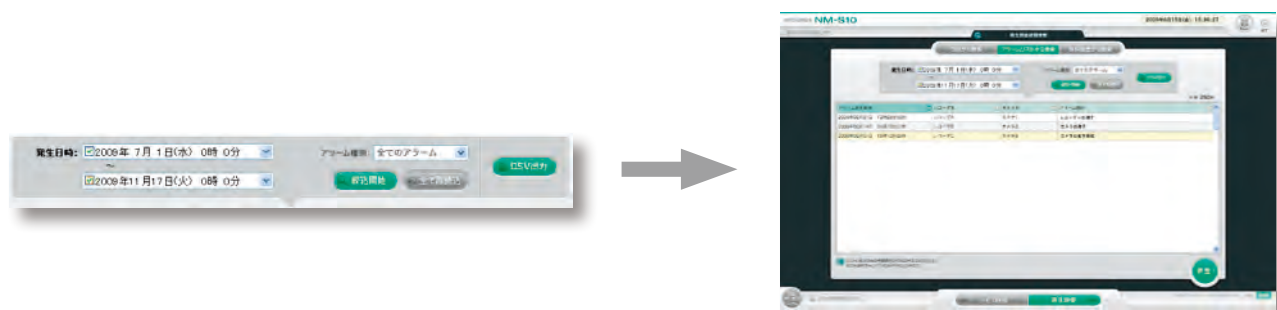
■検索映像再生

- ・指定したアラームの録画映像を再生

4.4.1 アラームリストの表示

初期表示時は、直近で発生したアラーム（再大 500 件）をリスト表示します。

アラームリストを絞り込みたい場合は、アラーム絞り込みの「発生日付」と「アラーム種別」を選択し、「絞込開始」ボタンをクリックすると、指定条件でアラームリストを絞り込むことができます。



4.4.2 再生

アラームリストから再生したいアラーム録画をクリックし、[再生] ボタンをクリックすると、選択したアラーム録画の映像が再生されます。



再生映像の画面から、再度検索画面に戻る場合は、[検索に戻る] ボタンをクリックします。



4.4.3 アラームリストCSV出力



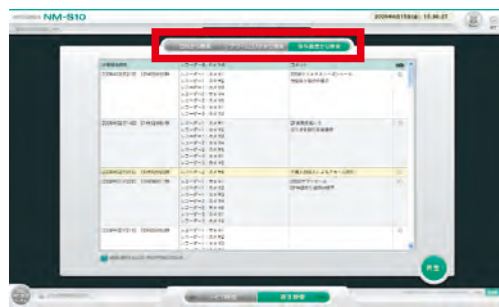
[CSV 出力] ボタンをクリックすると、アラームリストに表示しているアラームの情報を CSV ファイルで出力します。

4.5 再生履歴検索

一度再生したことがある録画映像を履歴として保存し、次回簡単に再生することができます。

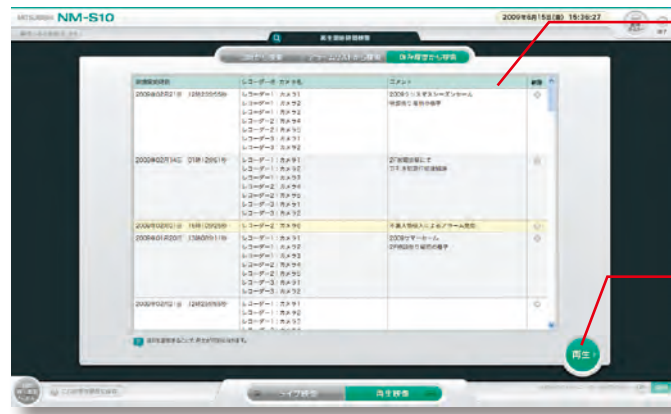
画面下部の [再生映像] ボタンをクリックすると、映像検索パネルが表示されます。

映像検索パネルの [保存履歴から検索] をクリックすると、再生履歴検索画面が表示されます。



4. 再生映像の閲覧・出力

再生履歴検索の画面は以下の要素から構成されます。



■再生履歴リスト

- ・保存した再生履歴をリスト表示

■検索映像再生

- ・指定した再生履歴の映像を再生

4.5.1 再生履歴保存

再生履歴として閲覧状態を保存しておきたい場合は、再生映像閲覧時に画面左下にある [この状態を履歴に保存] ボタンをクリックします。



【再生履歴保存パネル】

再生履歴保存パネルが表示されますので、コメントを入力し、[保存] ボタンをクリックすると、再生履歴として保存されます。

4.5.2 再生履歴リスト

保存された再生履歴は、再生履歴検索画面にリストとして表示されます。保存時に入力したコメントもリスト内に表示されます。

2009年02月21日 12時25分55秒	レコーダー1：カメラ1 レコーダー1：カメラ2 レコーダー1：カメラ3 レコーダー2：カメラ4 レコーダー2：カメラ5 レコーダー3：カメラ1 レコーダー3：カメラ2	2009クリスマスシーズンセール 特設売り場前の様子
-----------------------	---	-------------------------------

再生履歴を削除したい場合は、 ボタンをクリックします。

4.5.3 再生



再生したい履歴をリストから選択し、[再生] ボタンをクリックすると、保存してあった状態の映像が再生されます。

再生映像の画面から、再度検索画面に戻る場合は、[検索に戻る] ボタンをクリックします。

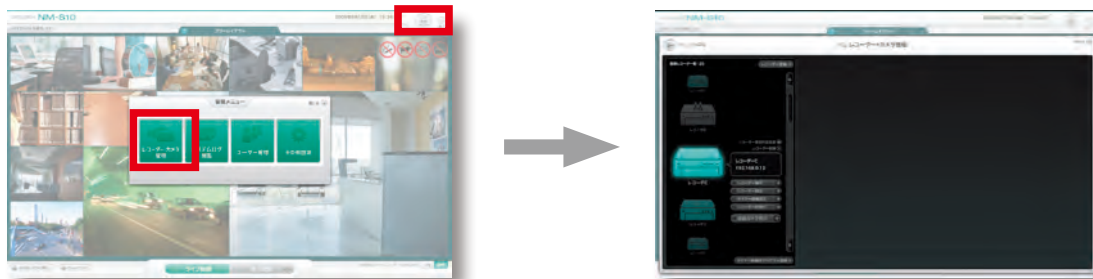


5. レコーダー・カメラの登録・設定

[NM-S10] を利用するためには、まず最初にレコーダー情報とカメラ情報を登録する必要があります。管理ユーザーのみが利用できる管理メニューから、それらの設定を行うことができます。

5.1 レコーダー登録・設定

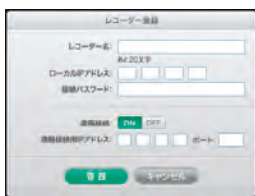
レコーダーの登録・設定を行う場合は、管理メニューの [レコーダー・カメラ管理] をクリックします。



5.1.1 レコーダーの登録



レコーダーを新規にシステムに登録する場合は、レコーダー・カメラ管理画面の [レコーダー登録] ボタンをクリックします。



【レコーダー登録パネル】

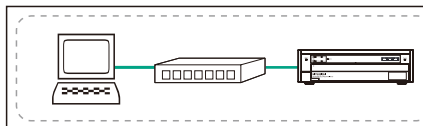
[レコーダー登録] パネルが表示されますので、以下の情報を入力し [登録] ボタンをクリックすると、レコーダーが登録されます。

- レコーダー名：レコーダー個体識別用の名称を入力します。
※すでに登録されているレコーダー名を登録することはできません。
- ローカル IP アドレス：レコーダーに割り当てられているローカル IP アドレスを入力します。
- 接続パスワード：レコーダーに設定されている接続パスワードを入力します。
- 遠隔接続：[NM-S10] とレコーダーが遠隔で接続されている場合は ON に、同一ネットワーク内で接続されている場合は OFF に設定してください。
※詳細は下記の [TIPS レコーダーのローカル IP アドレスと遠隔接続用 IP アドレス] を参照してください。
- 遠隔接続用 IP アドレス：レコーダーに割り当てられている遠隔接続用 IP アドレス(グローバル IP アドレス)とポート番号を入力します。
※遠隔接続が ON に設定されている場合のみ入力する必要があります。

TIPS レコーダーのローカル IP アドレスと遠隔接続用 IP アドレス

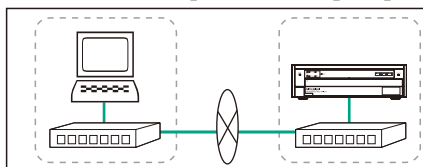
各機器の接続状態により、レコーダーのローカル IP アドレスと、遠隔接続用 IP アドレスは以下のように入力してください。

■パターン1. [レコーダー] と [NM-S10] が同一 LAN 内のある場合



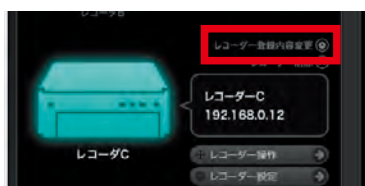
- ローカル IP アドレス：レコーダーに割り当てられているローカル IP アドレスを入力
- 遠隔接続用 IP アドレス：入力不要 (遠隔接続チェック OFF)

■パターン2. [レコーダー] と [NM-S10] が遠隔環境にある場合



- ローカル IP アドレス：レコーダーに割り当てられているローカル IP アドレスを入力
- 遠隔接続用 IP アドレス：レコーダーに割り当てられているグローバル IP アドレスとポート番号を入力

5.1.2 レコーダーの登録内容変更

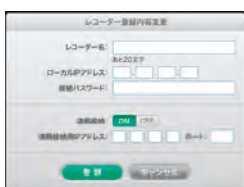


他の PC からレコーダーの設定変更をした場合、そのレコーダーと接続できなくなる場合があります。

「レコーダーの IP アドレスが変更された」

「レコーダーの接続パスワードが変更された」

など、レコーダー登録内容を変更する必要がある場合は、[レコーダー登録内容変更] ボタンをクリックします。



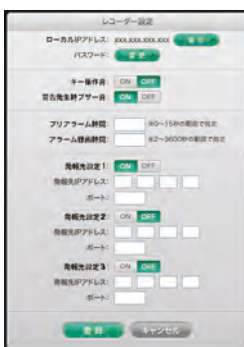
[レコーダー登録内容変更] パネルが表示されますので、変更後の IP アドレス・接続パスワード等を登録してください。

【レコーダー登録内容変更パネル】

5.1.3 レコーダーの設定変更



登録したレコーダーの設定を変更する場合は、レコーダー・カメラ管理画面から変更したいレコーダーを選択（画面中央に移動）し、[レコーダー設定] ボタンをクリックします。



[レコーダー設定] パネルが表示されますので、以下の情報を設定し [登録] ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

■ローカル IP アドレス：登録時に入力したレコーダーのローカル IP アドレスが表示されます。

■キー操作音：レコーダー本体のフロントキーを押した際に、ブザー音を鳴らすかどうかを設定します。

■警告発生時ブザー音：警告が発生した際に、ブザー音を鳴らすかどうかを設定します。

■プリアラーム時間：アラーム開始イベント発生時に、発生のタイミングから何秒前までさかのぼって録画をするか、その秒数を設定します。

※カメラのアラーム録画設定が ON になっていないとアラーム開始イベントが発生しても、録画は開始されません。

■アラーム録画時間：アラーム開始イベント発生時に、発生のタイミングから何秒間録画するか、その秒数を設定します。

※カメラのアラーム録画設定が ON になっていないとアラーム開始イベントが発生しても、録画は開始されません。

【レコーダー設定変更パネル】

5. レコーダー・カメラの登録・設定

■**発報先設定（1～3）**：レコーダーに対して警告が発生した際に、指定のIPアドレスに情報を送信するかどうかを設定します。

送信先は最大3か所まで指定することができます。

※**発報を受信するためには、警告検知アプリケーションが起動している必要があります。**警告検知アプリケーションは【8.2.2 警告の表示】を参照してください。

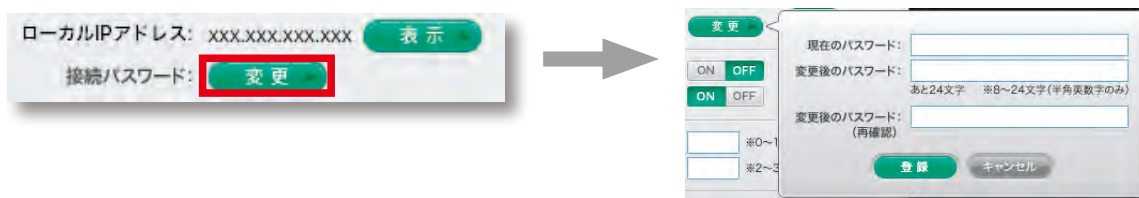
■**発報先IPアドレス（1～3）**：発報情報の送信先のIPアドレスを設定します。

■**ポート（1～3）**：発報情報の送信先のポート番号を設定します。

TIPS レコーダー接続パスワードの変更

レコーダー自体の接続パスワードを変更することができます。

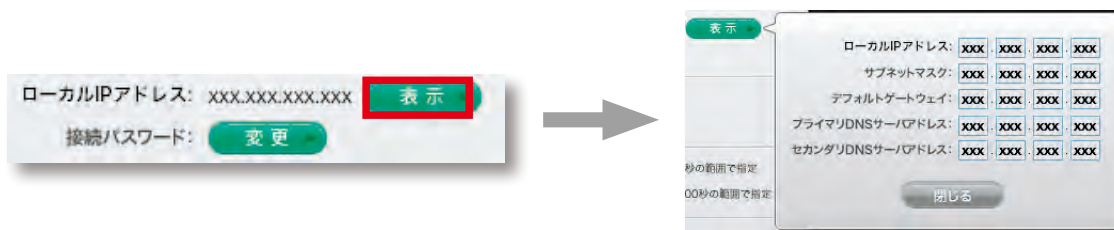
接続パスワードの「変更」ボタンをクリックすると、各変更画面が表示され、パスワードを変更することができます。



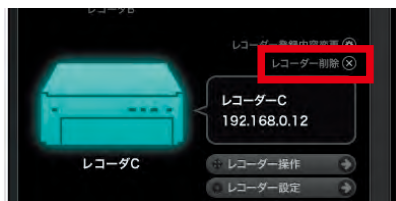
TIPS ネットワーク情報の表示

ローカルIPアドレスの横に配置されている【表示】ボタンをクリックすると、レコーダーに設定されているネットワーク情報の詳細を確認することができます。

※**設定されているネットワーク情報を【NM-S10】から変更することはできません。**



5.1.4 レコーダーの削除



レコーダーを削除する場合は、【レコーダー・管理管理】画面から削除したいレコーダーを選択（画面中央に移動）し、【レコーダー削除】ボタンをクリックします。

※削除しても、レコーダーに保存されている設定には影響しません。

※レコーダー登録の内容やレコーダー名、カメラ名は失われます。

5.2 カメラ登録・設定

カメラの登録・設定を行う場合は、管理メニューの [レコーダー・カメラ管理] から、カメラの登録・設定を行いたいレコーダーを選択（画面中央に移動）し、[接続カメラ表示] ボタンをクリックします。



※カメラは必ずいずれかのレコーダーに所属する必要があります。カメラをレコーダーに所属させずに登録することはできません。

5.2.1 カメラの登録



カメラを登録する場合は、[カメラ登録] ボタンをクリックします。

【カメラ登録パネル】

[カメラ登録] パネルが表示されますので、以下の情報を入力し [登録] ボタンをクリックすると、選択レコーダーにカメラが登録（所属）されます。

※ 1 つのレコーダーに登録できるカメラは最大 16 台までです。

※カメラの種類、画像サイズ、画質、フレームレートなどの設定により、接続可能な最大台数が 16 台以下になることがあります。

※複数のレコーダーで同じカメラを登録しないでください。

■チャンネル番号：割り当てるチャンネル番号を指定します。

レコーダーには 1 ～ 16 のチャンネルが存在し、そのチャンネル 1 つ 1 つにカメラを割り当てます。

※すでに他のカメラが割り当てられているチャンネルは選択することはできません。

■カメラ名：カメラ個体識別用の名称を入力します。

※同一レコーダー内で、すでに登録されているカメラ名を設定することはできません。

■IP アドレス（ポート）：カメラに割り振られているローカル IP アドレス・ポート番号を入力します。

■遠隔接続：[NM-S10] とレコーダーが遠隔で接続されている場合は ON に、同一ネットワーク内で接続されている場合は OFF に設定してください。

※詳細は次ページの [TIPS レコーダーのローカル IP アドレスと遠隔接続用 IP アドレス] を参照してください。

■遠隔接続用 IP アドレス（ポート）：カメラに割り振られている遠隔接続用 IP アドレス（グローバル IP アドレス）・ポート番号を入力します。

※ IP アドレスと遠隔接続用 IP アドレスの入力に関しては、次ページの [TIPS カメラの IP アドレス] を参照してください。

■カメラ認証：カメラに設定されている認証の ID・パスワードを入力します。

■メーカー名：登録するカメラのメーカー名を指定します。

※リストに表示されないメーカーには対応していません。

■型名：登録するカメラの型名を指定します。

※リストに表示されない型名には対応していません。

■画像サイズ：録画する際の画像サイズを指定します。

指定できる画像サイズはカメラ機種に依存します。

■画質：録画する際の画質を指定します。

指定できる画質はカメラ機種に依存します。

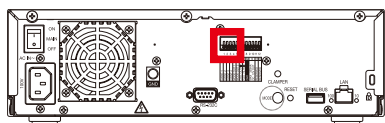
5. レコーダー・カメラの登録・設定

- フレームレート**：録画する際の映像フレームレートを指定します。
指定できるフレームレートはカメラ機種に依存します。
- ※**アラーム録画を行う場合は、フレームレートを 1fps ~ 30fps に設定してください。**
- 通常録画**：通常録画をする／しないを指定します。
OFF に設定した場合、通常録画を開始できません。
- アラーム録画**：アラーム録画をする／しないを指定します。
チェックが無いアラーム種別は、アラーム開始イベントが発生しても、録画を行いません。
- 動き検知設定**：クリックすると、ブラウザでカメラの動き検知設定画面を開きます。
- ※**動き検知の設定方法はカメラ機種により異なります。**
- ※**動き検知機能が無いカメラはボタンをクリックすることはできません。**

TIPS アラーム種別

[NM-S10] で検知できるアラームは以下の3種類です。

①レコーダー本体の背面端子への接地



背面端子1に接地があった場合、チャンネル番号1のカメラがアラーム録画を開始します。同様に端子2, 3, 4がチャンネル2, 3, 4に対応しています。
※チャンネル番号が5~16のカメラは、背面端子のアラーム録画設定を行うことはできません。

②カメラの端子への接地



カメラの端子に接地があった場合、そのカメラがアラーム録画を開始します。
※端子が無いカメラは、カメラ端子のアラーム録画設定を行うことができません。

③カメラの動き検知

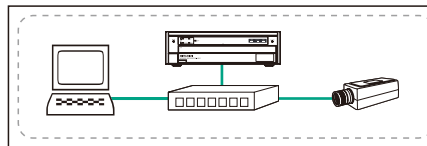


カメラの動き検知設定により、映像に動きが検知された場合、そのカメラのアラーム録画を開始します。
※動き検知機能が無いカメラは、動き検知のアラーム録画設定を行うことはできません。

TIPS カメラのIPアドレス

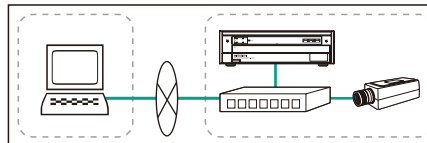
各機器の接続状態により、カメラのIPアドレスと、遠隔接続用IPアドレスは以下のように入力してください。

■パターン1. [レコーダー]・[カメラ]・[NM-S10] が同一LAN内のある場合



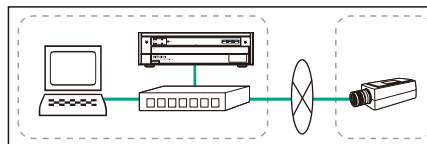
- IPアドレス**：カメラに割り当てられているローカルIPアドレスとポート番号を入力（ポート番号は未入力でも構いません）
- 遠隔接続用IPアドレス**：入力不要（遠隔接続チェック OFF）

■パターン2. [レコーダー]・[カメラ] のみ同一LAN内のある場合



- IPアドレス**：カメラに割り当てられているローカルIPアドレスとポート番号を入力（ポート番号は未入力でも構いません）
- 遠隔接続用IPアドレス**：カメラに割り当てられているグローバルIPアドレスとポート番号を入力

■パターン3 [レコーダー]・[NM-S10] のみ同一LAN内のある場合



- IPアドレス**：カメラに割り当てられているローカルIPアドレスとポート番号を入力（ポート番号は未入力でも構いません）
- 遠隔接続用IPアドレス**：カメラに割り当てられているグローバルIPアドレスとポート番号を入力

5.2.2 カメラの設定変更



登録したカメラの設定を変更する場合は、変更カメラを選択（画面中央に移動）し、[カメラ設定] ボタンをクリックします。



【カメラ設定パネル】

[カメラ設定] パネルが表示されますので、カメラ登録時と同様に各項目を設定し [登録] ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

※一度登録したチャンネル番号を変更することはできません。チャンネル番号を変更したい場合は、一度削除後に再登録してください。

5.2.3 カメラホームポジションの設定



カメラのホームポジションを変更したい場合は、変更カメラを選択（画面中央に移動）し、[ホームポジション設定] ボタンをクリックします。

※ PTZ（パンチルトズーム）機能の無いカメラの場合は、設定することができません。



【ホームポジション設定パネル】

[ホームポジション設定] パネルが表示されますので、ホームポジションとしてほしいカメラの向き、ズームを決めて [登録] ボタンをクリックすると、ホームポジションとして登録されます。

ここで登録されたポジションは、[3.2.2 PTZ（パンチルトズーム）カメラ操作] で向き等を変更されても、操作後に自動的に戻ります。

5.2.4 カメラの削除



カメラ削除する場合は、削除したいカメラを選択（画面中央に移動）し、[カメラ削除] ボタンをクリックします。

6. レコーダーの各種操作・初期化

[NM-S10] では、アプリケーションからレコーダーに対して直接設定操作を行ったり、初期化の操作を行うことができます。

6.1 レコーダーの操作

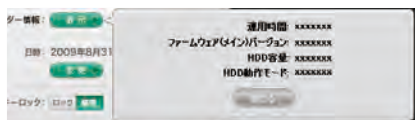
レコーダーの設定操作を行う場合は、管理メニューの [レコーダー・カメラ管理] から、操作を行いたいレコーダーを選択 (画面中央に移動) し、[レコーダー操作] ボタンをクリックします。



6.1.1 レコーダー情報



レコーダー情報ボタンをクリックすると、レコーダー情報パネルが表示され、選択レコーダーのファームウェアのバージョン等を確認することができます。



【バージョン情報パネル】

■**運用時間**：レコーダーの電源が [ON] 状態になっている積算の時間です。

■**ファームウェア (メイン) バージョン**：

レコーダーに搭載されているファームウェアのバージョンです。

■**HDD容量**：レコーダーに搭載されているHDDの容量です。

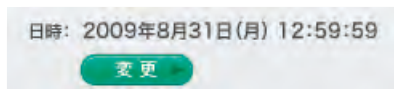
■**HDD動作モード**：

<スパニング> 2台の内蔵HDDを見た目上1台に結合し、1台のHDDとして運用します。

<ミラーリング> 搭載HDDを二重化し、1台が故障しても切り離して動作を継続できるモードです。録画できる総時間はスパニングモードの約半分になります。

※電源 OFF の時は HDD の情報を取得できないため、[HDD 容量] と [HDD 運用モード] は正しく表示されません。

6.1.2 レコーダー時刻設定



日時の [変更] ボタンをクリックすると、[時刻設定] パネルが表示され、選択レコーダーの時刻を変更することができます。

変更後の日時を指定し、[登録] ボタンをクリックすると、レコーダーの時刻が変更されます。



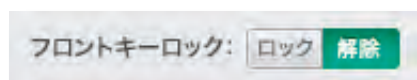
【時刻設定パネル】

[PCの日時に合わせる] ボタンをクリックすると、操作しているPCの時刻をレコーダーの時刻に設定します。

※複数のレコーダーの時刻を一括で設定することもできます。一括の設定方法は [10.4 レコーダー一括時刻設定] を参照ください。

6.1.3 フロントキーロック設定

フロントキーロックの [ロック] および [解除] ボタンをクリックすると、選択レコーダー本体のフロントキーをロックしたりロック解除したりすることができます。



フロントキーをロックすると、レコーダーのフロントキーが無効になります。



フロントキーロックのパスワードを変更する場合は、[変更] ボタンをクリックするとフロントキーロックパスワード変更パネルが表示され、変更することができます。



※パスワードは、レコーダー本体のフロントキーを操作する場合に必要となるパスワードです。

[NM-S10] でフロントキーのロックおよびロック解除にパスワードは必要ありません。

【フロントキーロックパスワード変更パネル】

6.1.4 レコーダー電源ON/OFF

[ON] および [OFF] ボタンで、選択レコーダーの電源の入切を行うことができます。



6.1.5 タイマー録画ON/OFF

登録した録画スケジュールに従って、映像を自動録画させたい場合は、タイマーを [ON] に設定します。(タイマーモードに設定されます)

タイマーモードではなく、手動で録画を開始・停止したい場合は、タイマーを [OFF] に設定します。



※タイマー録画の設定に関しては、[7. タイマー録画の設定] を参照してください。

※タイマー録画プログラムが登録されていても、タイマーを [ON] に設定しないと、タイマー録画は稼働しません。

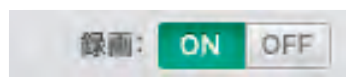
※タイマーを [ON] に設定すると、通常の録画・録画停止ボタンは表示されなくなります。

6. レコーダーの各種操作・初期化

6.1.6 録画 ON/OFF

録画を [ON] に設定すると、選択レコーダーの録画を開始します。

録画を [OFF] に設定すると、選択レコーダーが録画をしていた場合は、停止します。(アラーム録画の場合も強制停止されます)



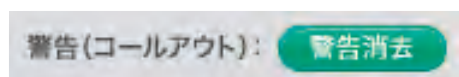
※ライブ映像のカメラリスト・映像コントロールからでも録画の開始・停止を行うことができます。

※タイマーが [ON] に設定されているときは、録画を開始または停止することはできません。

※アラーム録画中に [ON] に設定すると、通常録画を開始することができます。

6.1.7 警告消去

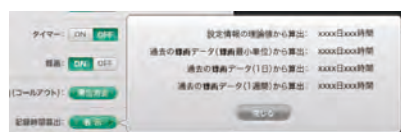
[警告消去] ボタンをクリックすると、レコーダーに発生している警告状態を解除することができます。



警告が消去されると、レコーダー本体の警告ランプが消えます。

6.1.8 記録時間の算出

レコーダー・カメラに設定されている内容から、レコーダー内のHDDで記録できる最大の時間を算出することができます。



【記録時間算出パネル】

[記録時間算出] ボタンをクリックすると、[記録時間算出] パネルが表示され、異なる4つの計算方式で算出された記録時間を確認することができます。

■設定情報の理論値から算出：

カメラ設定の理論値から録画可能時間を算出します。カメラの画像サイズや画質などを変更すると、算出結果も変動します。

■過去の録画データ(録画最小単位)から算出：

直近の実績録画データ容量(録画最小単位)から、積算して録画可能時間を算出します。

■過去の録画データ(1日)から算出：

直近の1日の実績録画データ容量から、積算して録画可能時間を算出します。

■過去の録画データ(1週間)から算出：

直近の1週間の実績録画データ容量から、積算して録画可能時間を算出します。

※算出される時間は、あくまで目安の時間です。実際の録画時間とは異なることがあります。

※上記4種類の算出結果には、理論値・実測値の違いから誤差が生じることがあります。

※HDDがいっぱいになった場合は、古いデータから上書きされ消えていきます。

(HDDがいっぱいになっても録画できなくなることはありません)

6.2 レコーダーの初期化

レコーダーの初期化操作を行う場合は、管理メニューの [レコーダー・カメラ管理] から、操作を行いたいレコーダーを選択（画面中央に移動）し、[レコーダー初期化] ボタンをクリックします。



6.2.1 ハードディスク初期化

ハードディスク初期化: **実行**

ハードディスク初期化の [実行] ボタンをクリックすると、ハードディスクに記録されていた全録画データが消去されます。

※一度消去された録画データは二度と戻すことはできませんので、ご注意ください。

※レコーダー・カメラの設定情報やログ情報は初期化されません。

6.2.2 設定情報初期化

ネットワーク設定以外の設定情報初期化: **実行**

ネットワーク設定以外の設定情報初期化の [実行] ボタンをクリックすると、レコーダーの設定とカメラの設定がすべて削除されます。

※一度削除された設定内容は二度と戻すことはできませんので、ご注意ください。

※レコーダーやカメラの IP アドレス・パスワードは初期化されません。

※HDDに録画された映像データやログ情報は初期化されません。

7. タイマー録画の設定

あらかじめ録画スケジュールを設定しておくことにより、自動的に録画の開始・停止を行うことができます。(タイマー録画)

タイマー録画の設定には以下の手順が必要になります。

1. タイマー録画用プログラムの作成



2. カメラに対し、作成したプログラムを割り当て



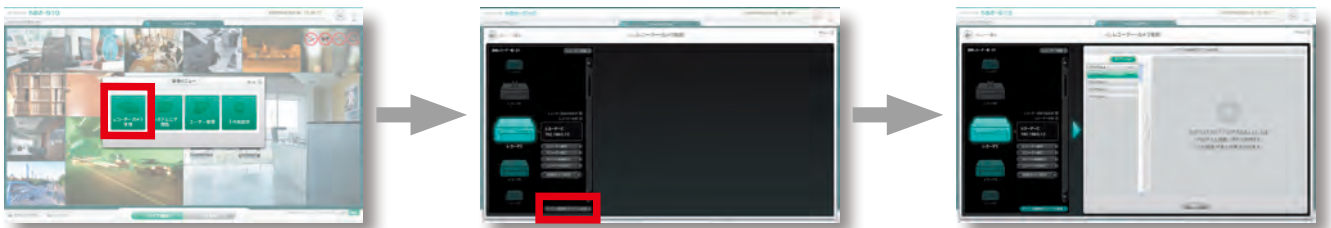
3. タイマーモードの開始

タイマーモードに設定した場合、録画ボタンによる録画開始はできなくなります。(録画ボタンが表示されなくなります)

	録画ボタンによる録画	録画プログラムによる録画	アラーム開始イベントによる録画
通常モード (タイマー OFF)	○	×	○
タイマーモード (タイマー ON)	×	○	○

7.1 タイマー録画用プログラムの作成

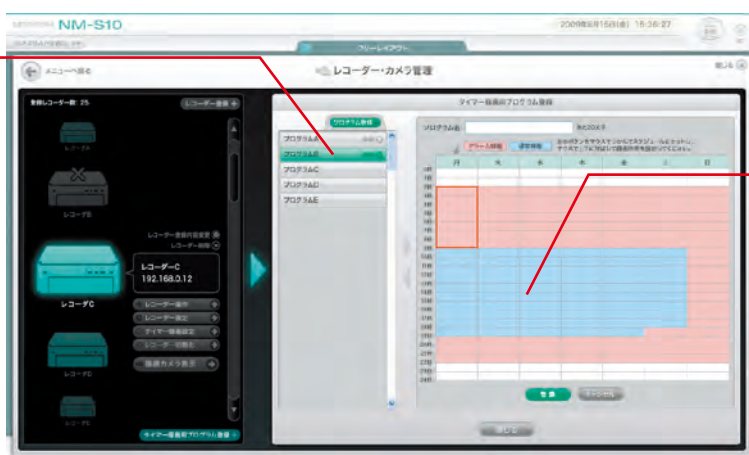
タイマー録画用プログラムを作成する場合は、管理メニューから [レコーダー・カメラ管理] をクリックし、[タイマー録画用プログラム登録] をクリックします。この時、どのレコーダーが選択状態 (画面中央に表示) でも構いません。クリックすると、タイマー録画用プログラム登録パネルが表示されます。



タイマー録画用プログラム登録パネルは以下の要素で構成されます。

■登録プログラムリスト

- 登録されているプログラム（録画スケジュール）の一覧



■録画スケジュール

- 選択プログラムの1週間の録画スケジュールの表示・編集

7.1.1 録画プログラムの追加



【タイマー録画用プログラム登録パネル】

[プログラム登録] ボタンをクリックすると、録画スケジュールに [タイマー録画用プログラム登録] パネルが表示されます。

プログラム名と、1週間の録画スケジュールを登録し、[登録] ボタンをクリックすると、新規にプログラムが登録されます。

※作成した録画プログラムは、カメラに割り当てないと機能しません。カメラへの割り当て方法は[7.2.1 録画プログラムの割り当て]を参照してください。

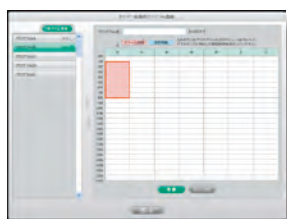
TIPS 録画スケジュールの登録

録画スケジュール表上部の「**アラーム録画**」または「**通常録画**」をスケジュール表にドラッグ&ドロップすることで、任意の曜日・時間帯に録画スケジュールを配置することができます。

「通常録画」を配置した時間帯は通常録画します。アラーム開始イベントによるアラーム録画も可能です。（カメラ設定の通常録画ボタンが OFF になっていると、通常録画もアラーム録画もしません。アラーム録画のみ行いたい場合は「アラーム録画」を使用してください。）

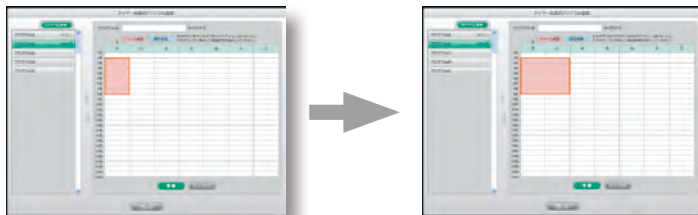
「アラーム録画」を配置した時間帯は、アラーム開始イベントが発生したときのみ、録画を開始します。設定の無い時間帯は録画しません。（アラーム開始イベントが発生しても録画されません）

※カメラに割り当て後、全てのカメラで設定の無い時間帯はタイマー電源 OFF となります。

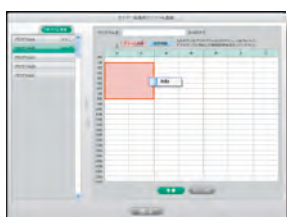


7. タイマー録画の設定

配置された録画スケジュールの枠をマウスでつかんで移動させることで、時間帯および曜日を拡大することができます。



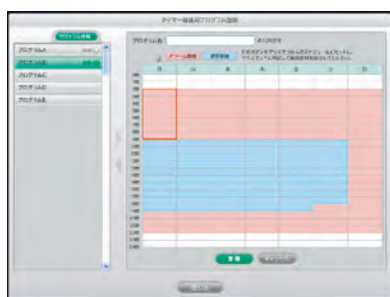
配置した録画スケジュールを削除したい場合は、右クリックから「削除」をクリックしてください。



7.1.2 録画プログラムの編集



登録した録画プログラムを編集したい場合は、登録プログラムリストから編集したい録画プログラムをクリックします。



選択したプログラムの録画スケジュールが表示されますので、追加の時と同様の操作を行い、[登録] ボタンをクリックすると、変更内容が登録されます。

7.1.3 録画プログラムの削除

登録した録画プログラムを削除したい場合は、登録プログラムリストから削除したい録画プログラムを選択し、[削除] ボタンをクリックすると削除されます。



※カメラに割り当て済みのプログラムを削除すると、カメラの割り当ても解除されますのでご注意ください。

7.2 タイマー録画の登録・開始

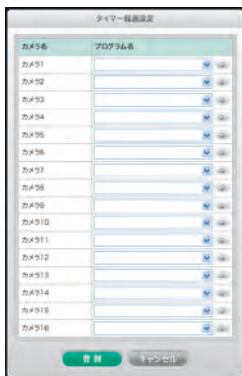
作成した録画プログラムはカメラに割り当てる必要があります。

各カメラに対し録画プログラムを割り当て後、タイマーモードを開始するとタイマー録画が稼働します。

7.2.1 録画プログラムの割り当て



録画プログラムをカメラに割り当てるには、割り当てたいカメラが所属するレコーダーを選択（画面中央に移動）し、[タイマー録画設定] ボタンをクリックします。

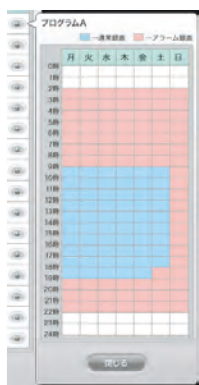


[タイマー録画設定] パネルが表示され、選択レコーダーに登録されているカメラが一覧表示されます。

リストボックスから割り当てたい録画プログラムを選択し、[登録] ボタンをクリックするとカメラへ録画プログラムが割り当てられます。

【タイマー録画設定パネル】

割り当てた録画プログラムの詳細は  ボタンをクリックすることで確認できます。

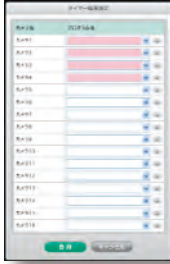


※録画プログラムをカメラに割り当てるだけでは、タイマー録画は稼働しません。タイマー録画を稼働させるためには、[\[7.2.2 タイマー録画モードの開始\]](#) の操作を行ってください。

7. タイマー録画の設定

TIPS タイマー録画設定の異常時

レコーダーのタイマー録画設定に異常がある場合、カメラのリスト背景が赤色で表示されます。赤色で表示されたカメラがある場合は、再度設定を登録することで異常は解消されます。



7.2.2 タイマー録画モードの開始

タイマー録画を開始するためには、タイマーモードが [ON] に設定されている必要があります。[レコーダー・カメラ管理] 画面の [レコーダー操作] をクリックし、タイマーを [ON] に設定してください。



- ※タイマーモードが [ON] 状態になっていれば、録画プログラムの割り当ての度に上記操作を行う必要はありません。
- ※タイマーモードの [ON/OFF] の切り替えはレコーダー単位となります。複数レコーダーをタイマーモードに設定したい場合は、レコーダー1台ごとにタイマーモードを設定する必要があります。

8. システムログ・警告

レコーダーになんらかの異常が発生した場合、レコーダー本体に警告ランプが点灯すると共に、レコーダー内部にログとして警告情報が蓄積されます。

また、録画の開始・停止等のユーザー操作もログとしてレコーダーに蓄積しており、[NM-S10] で過去のログ内容を確認することができます。

8.1 システムログ

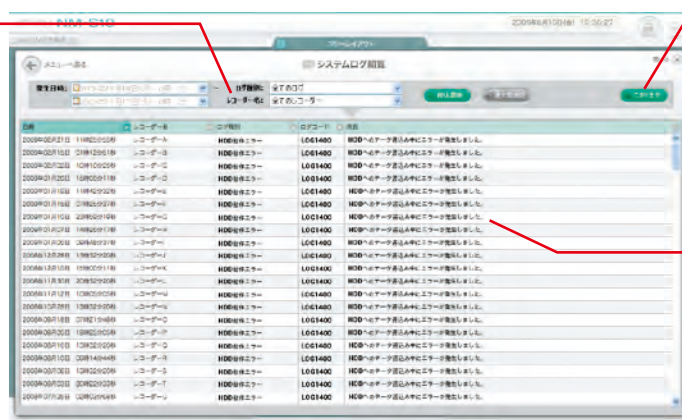
蓄積された警告情報・ログを確認したい場合は、管理メニューから [システムログ閲覧] をクリックします。



システムログ閲覧画面は以下の要素で構成されます。

■ ログ絞り込み

- 日時等の条件で表示ログを絞り込み



■ CSV 出力

- 表示しているシステムログを CSV ファイルに出力

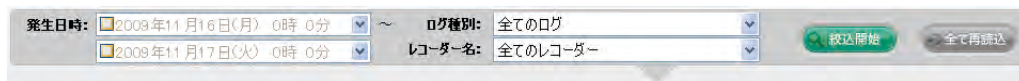
■ システムログ一覧

- レコーダーに蓄積されているログの一覧

8.1.1 ログの表示

初期表示時は、最新のログ 500 件を表示します。

ログを絞り込みたい場合は、ログ絞り込みの [発生日時]、[ログ種別]、[レコーダー名] を選択し、[絞り込み開始] ボタンをクリックすると、指定条件でログを絞り込むことができます。



※ ログの種別は [8.1.3 ログ情報一覧] を参照してください。

8.1.2 ログのCSV出力



[CSV 出力] ボタンをクリックすると、システムログ一覧に表示しているログ情報を CSV ファイルで出力します。

8. システムログ・警告

8.1.3 ログ内容一覧

蓄積されるログ内容は以下

分類	ログ種別	ログコード	表示内容 (原因)	警告表示
エラーログ	システム復旧	LOG5100	システム復旧機能がはたらきました。	○
		LOG5101	システム復旧機能がはたらきました。(ウォッチドッグ)	○
		LOG5121	システム復旧機能がはたらきました。(ウォッチドッグ)	○
	HDD 認識異常	LOG9900	HDD 管理情報の読み出しができませんでした。	○
		LOG6200	HDD が認識できませんでした。	○
		LOG6400	ミラーリングしている片方の HDD が認識できませんでした。	○
		LOG6100	HDD が認識できなくなりました。	
	HDD動作エラー	LOG1400	HDD へのデータ書き込み中にエラーが発生しました。	
		LOG1300	HDD へのデータ書き込み中に軽微なエラーが発生しました	
		LOG2400	HDD からのデータ読み出し中にエラーが発生しました。	
		LOG2300	HDD からのデータ読み出し中に軽微なエラーが発生しました。	
		LOG1500	録画したデータのチェックでエラーが発生しました。	
	LOG1600	録画したデータのチェックでエラーが発生しました。		
	カメラ接続エラー	LOG54**	カメラ (**ch) へ接続できませんでした。	○
	高温/ファン	LOG5200	レコーダーの周囲温度が高温になりました。	○
		LOG5201	レコーダーの周囲温度が異常な高温になりました。	○
		LOG5300	ファンに異常が発生しました。	○
	LANエラー	LOG8000	LAN の接続が切断されました。	
		LOG8501	カメラ映像のデータサイズが一時的に大きくなったので、一旦録画を停止しました。	
	操作ログ	レコーダー操作	POWER OFF	レコーダーの電源を OFF にした。
POWER ON			レコーダーの電源を ON にした。	
POWER COM OFF			通信経由でレコーダーの電源を OFF にした。	
POWER COM ON			通信経由でレコーダーの電源を ON にした。	
REC COM ON			通信経由で録画を開始した。	
REC COM OFF			通信経由で録画を停止した。	
TIMER COM ON			通信経由でタイマー録画を開始した。	
TIMER COM OFF			通信経由でタイマー録画を停止した。	
CHANGE TIMER PRG			通信経由でタイマープログラムの反映操作をした。	
LOCK ON			レコーダーのパスワードロックをかけた。	
LOCK OFF			レコーダーのパスワードロックを解除した。	
LOCK COM ON			通信経由でレコーダーのパスワードロックをかけた。	
LOCK COM OFF			通信経由でレコーダーのパスワードロックを解除した。	
WNG RESET			警告状態を解除した。(CALL OUT 解除)	
SYS RST		レコーダーの RESET ボタンを押した。		
停電ログ		P-LOSS	レコーダーの動作中に停電した。	
		P-RETURN	停電から復帰した。	
特殊操作		FW VER.UP	ファームウェアを更新した。	
		FORCED P-OFF	強制電源 OFF した。	
		MODE-INIT	初期化モードを起動した。	
	MODE-INIT(COM)	通信経由で初期化モードを起動した。		
メニュー設定	TIME SETTING(B)	レコーダーの日時を設定した。(変更前時刻)		
	TIME SETTING(A)	レコーダーの日時を設定した。(設定時刻)		
	PASSWORD SETTING	レコーダーの接続パスワードを設定した。		
	RECORDER SETTING	レコーダーに関する設定をした。		
	CAMERA SETTING	カメラに関する設定をした。		

※ カメラ接続エラーの” **” にはチャンネル番号 (01 ~ 16) が入ります。

※ [警告表示] に○印がついているものは、[5.1.1 レコーダーの登録] で設定した発報設定の IP アドレス・ポートに警告情報を送信します。

8.2 警告

レコーダーになんらかの異常が発生した場合、レコーダー本体に警告ランプが点灯します。
また、設定により警告内容を画面上に表示することができます。



8.2.1 警告の表示

警告が発生した場合、画面上に以下のような警告パネルを表示させることができます。



8.2.2 警告表示の設定

警告内容を画面上に表示させるためには、Windows タスクトレイに [警告検知アプリケーション (NM-S10 Notification)] が起動している必要があります。[警告検知アプリケーション] は Windows 起動時、または [NM-S10] アプリケーション起動時に起動され、タスクトレイに常駐します。



タスクトレイの警告検知アプリケーションを右クリックすると、[設定変更/終了] のメニューが表示されます。



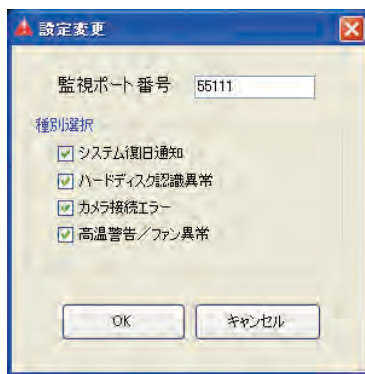
8. システムログ・警告

設定変更を選択すると、ログイン画面が表示されます。

管理ユーザーのIDとパスワードを入力すると、警告検知設定画面が表示されます。



警告検知設定画面では、監視するポート番号と表示する警告内容を設定することができます。



■監視ポート番号：警告情報を受信するポート番号を指定します。

ここで指定するポートは、[5.1.1 レコーダーの登録] で設定したポート番号と対応している必要があります。

■表示警告内容：

警告が発生した際に、警告内容を画面上に表示させるかどうかを設定することができます。

チェックが OFF になっている種別の警告は、発生しても画面上に表示されません。(ログ情報はレコーダーに残ります)

9. ユーザー管理

[NM-S10] を利用するためにはログイン認証が必要になります。

管理メニューの [ユーザー管理] から、[NM-S10] を利用できるユーザーの追加・編集・削除を行うことができます。



9.1 ユーザー一覧

ユーザー管理画面は以下の要素で構成されます。

■ユーザー一覧

・登録されているユーザーの一覧表示



■ユーザー設定パネル

・新規ユーザー情報の入力
・登録ユーザー情報の変更

9.1.1 ユーザーの表示

登録されているユーザーの [名称]・[ID]・[グループ]・[種別]・[閲覧可能カメラ] が一覧で表示されます。

ユーザー名	ユーザーID	グループ	種別	レコーダA					レコーダB										
				カメラ1	カメラ2	カメラ3	カメラ4	カメラ5	カメラ6	カメラ7	カメラ8	カメラ9	カメラ10	カメラ11					
池田 洋行	akida	保安課	管理																
土田 弘男	tsuda	保安課	一般																
大田 弘作	otake	保安課	一般																
田中 隆夫	tanaka	保安課	一般																
伊藤 健太郎	iyota	保安課	一般																
佐藤 健太郎	satou	保安課	一般																
山口 健太郎	yamaguchi	保安課	管理																
高田 健太郎	takada	保安課	一般																
安田 健太郎	yasuda	保安課	一般																
大田 健太郎	otake	保安課	一般																
竹田 健太郎	taketani	保安課	一般																
吉田 健太郎	yoshida	保安課	一般																
伊藤 健太郎	iyota	保安課	一般																

： 閲覧権限が与えられているカメラ

各項目のヘッダー部分をクリックすると、内容でソート（表示順変更）することができます。



9. ユーザー管理

9.1.2 ユーザー種別(機能制限)

[NM-S10] では3つのユーザー種別を設定することができ、それぞれのユーザー種別により、利用できる機能が異なります。

ユーザー種別と利用可能機能に関しては [2.5.1 ユーザー種別] を参照してください。


9.2 ユーザーの追加・編集・削除

ユーザーは任意に追加・編集・削除することができます。登録ユーザー数に上限はありません。

9.2.1 ユーザーの追加



[ユーザー登録] ボタンをクリックすると、画面下部に [ユーザー設定] パネルが表示されます。

A screenshot of the user registration form. It includes input fields for "ユーザー名:" (max 20 characters), "ユーザーID:" (max 10 characters, alphanumeric), "パスワード:" (max 10 characters, alphanumeric), and "グループ:" (max 10 characters). Below these are four checkboxes for recording: "レコーダA", "レコーダB", "レコーダC", and "レコーダD". Underneath is a grid of 16 checkboxes for cameras, labeled "カメラ1" through "カメラ16". At the bottom are buttons for "登録" (Register), "キャンセル" (Cancel), "全て選択" (Select All), and "実行" (Execute).

[ユーザー設定] パネル内で、ユーザー情報を入力し、[登録] ボタンをクリックすると、新規にユーザーが追加されます。

- ユーザー名： ユーザーの識別名称を入力します。
- ユーザーID： ログイン用のIDを入力します。(半角英数字のみ)
- パスワード： ログイン用のパスワードを入力します。(半角英数字のみ)
- グループ： ユーザーのグループ名を入力します。(一覧表示のソート用)
- 種別： ユーザー種別を指定します。
- 閲覧可能カメラ： 閲覧権限を与えるカメラを選択します。ユーザーはチェックされたカメラのみ閲覧することができます。(カメラが新規に追加された場合は、初期はチェックがOFFになっています)

9.2.2 ユーザーの編集

ユーザー一覧の  ボタンをクリックすると、画面下部に選択ユーザーのユーザー設定パネルが表示されます。



ユーザー設定パネル内で、登録内容を編集し [登録] ボタンをクリックすると、ユーザー情報が変更されます。

9.2.3 ユーザーの削除

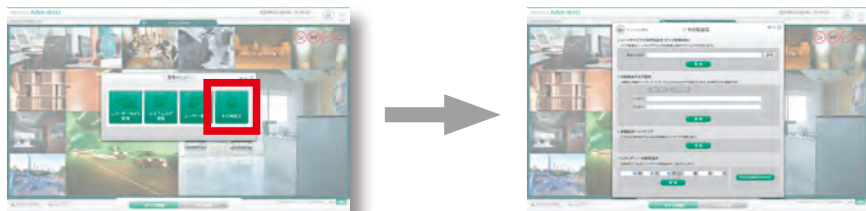
ユーザー一覧の  ボタンをクリックすると、選択ユーザーが削除されます。

※一度削除したユーザーを戻したい場合は、再度登録を行ってください。

※管理ユーザーは最低1名残っている必要があります。(最後の管理ユーザーは削除することができません)

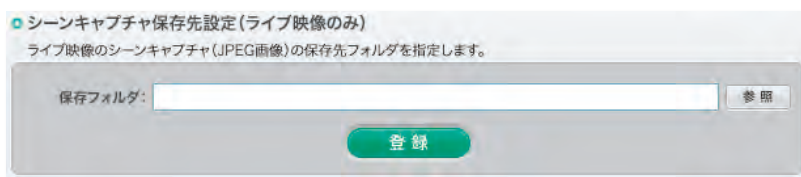
10. その他の設定

その他のシステム全体に関わる設定は、管理メニューの [その他設定] から行うことができます。



10.1 シーンキャプチャ保存先設定

ライブ映像を静止画保存するシーンキャプチャ機能の保存先フォルダを設定することができます。参照ボタンから保存先フォルダを選択し、[登録] ボタンをクリックすると設定が登録されます。



※シーンキャプチャ機能に関しては [3.2.4 シーンキャプチャ] を参照してください

※静止画ファイルはユーザーごとのフォルダに分けられて保存されます。

※保存先フォルダが未設定の場合は Windows のマイドキュメントに [NM-S10-WORK] フォルダが作成され、保存されます。

10.2 印刷時表示文字設定

レポート印刷時に入力可能なヘッダー・フッターの内容を設定しておくことができます。

ヘッダー・フッターそれぞれのフォームに内容を入力し、[登録] ボタンをクリックすると、内容が登録されます。



※登録した内容は印刷実行時に追加・編集することができます。

※レポート印刷機能に関しては [4.2.3 印刷] を参照してください

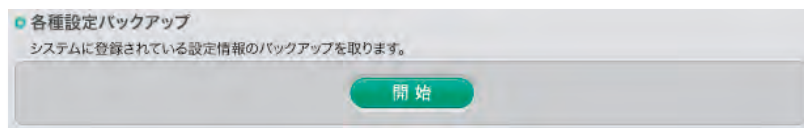
TIPS 録画日時挿入と印刷日付挿入

ヘッダーおよびフッターを入力中に「録画日時挿入」または「印刷日付挿入」ボタンをクリックすると、入力箇所に、「録画日時： <_録画日時_>」または「印刷日時： <_印刷日時_>」という文字が挿入されます。これらは印刷実行の際に、印刷映像の「録画日時」と「印刷日付」に自動変換され出力されます。

10.3 各種設定バックアップ

登録されているユーザー情報等をバックアップファイルとして出力することができます。

[開始] ボタンをクリックすると、バックアップファイルが出力されます。



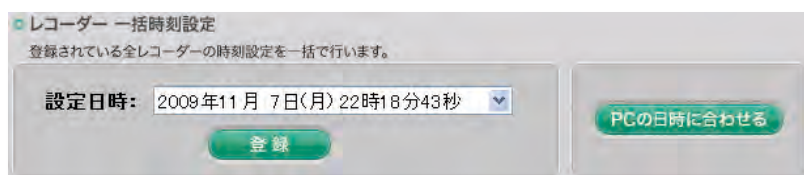
※バックアップファイルに保存される内容は、ユーザー情報やレコーダーへの接続情報のみで、レコーダー内に保持している詳細設定情報は保存されません。

※バックアップファイルを戻したい場合は販売店へご相談ください。

10.4 レコーダー一括時刻設定

登録している全レコーダーの時刻を一括で設定することができます。

時刻を設定し、[登録] ボタンをクリックすると、[NM-S10] に登録されている全レコーダーの時刻を一括で変更します。



[PCの日時に合わせる] ボタンをクリックすると、操作しているPCの時刻を全レコーダーの時刻に一括設定します。

※レコーダーの時刻を個別に設定したい場合は、[6.1.2 レコーダー時刻設定] を参照してください。

11. 付録

11.1 制限事項

- 万一、動作障害が発生し、障害原因が当社ネットワークレコーダーかネットワークカメラおよび本ソフトウェアか、その他の構成機器、付属するケーブル、アプリケーションソフトウェア、OSなどに起因するものか判明しない場合には、当社ネットワークレコーダーとネットワークカメラと本ソフトウェア、指定のOSのみがインストールされたパーソナルコンピューター間を、指定の機材を用いた直結の条件（疑義を生じない範囲では、同等の機材で可）での動作確認により、障害原因の切り分け判断をするものとします。
- [NM-S10] では、多くの画像データを表示または展開するために大量のメモリを消費します。他のアプリケーションと同時に起動することは避けてください。また複数台のレコーダーに接続していたり画面を頻繁に切り替えた場合などにも大量のメモリを消費します。動作に違和感が生じた場合は再起動するなどしてください。
- [NM-S10] で再生される画質は、デジタルレコーダーでの記録時の画質設定に依存します。
- 録画画像の更改速度はご使用のパーソナルコンピューターのCPU処理能力やネットワーク機器の性能にも依存します。したがって、録画の記録間隔と一致しない場合があります。
- 他のネットワーク機器と同じネットワーク上で使用すると、所望の性能を得られないことがあります。このような場合はネットワークを分離するなどの対策を行ってください。
- ライブ映像の表示中に「ActiveMovieWindow」の表示が出た場合、PCの「画面プロパティ」のハードウェアアクセラレーターを下げると改善される事があります。操作方法は次のようにします（Windows XPの場合）。
 - ① ディスクトップで右クリックし、プロパティを選択します。
 - ② 「画面のプロパティ」の設定タブの詳細設定を選択します。
 - ③ トラブルシューティングタブのハードウェアアクセラレーターのつまみを左に2つ移動します。
- 他のPCよりカメラの登録・変更・削除しても [NM-S10] 起動中は変更されません。設定を反映させるには [NM-S10] の再起動が必要です。
- [NM-S10] 起動中は、一時的なLANケーブル外れなどで、レコーダーが未接続になっても再接続しません。再接続するためには [NM-S10] の再起動が必要です。
- レコーダーが未接続になっても、そのレコーダーに登録されていた設定でカメラのライブ表示を継続します。
- 仕様は予告なく変更されることがあります。